



日々、
真剣勝負。

きり た
大津市議会 議員 桐田まこと市政だより 【第3号】
議 員 2013年春号

桐田まことが推進した主な事業

- 平成24年9月定例会一般質問における提案により、「いじめ対策推進室」の新設につながりました。
 - いじめ相談窓口のナイトダイヤルが新たに開設され、365日24時間体制での相談受付が可能となりました。
 - 皇子山球場ボールカウントボードが現在の旧式S B O方式から現行式B S O方式へ改修されます。
 - 平成25年度当初予算において市道維持管理費が前年比約20%増、約4500万円の増額措置されました。
 - 大津市地域防災計画において防災教育に関する内容の追記充実が図られました。
 - 平成25年4月から児童クラブの延長保育と学校休業日の開所時間の前倒しが実施されました。
 - 平成25年度から大津市立の幼・小・中学校のすべての教室にエアコンが3カ年計画で整備されていきます。
 - 重度の障がいのある方々が通所される、びわ湖学園生活介護事業所ピアーズの増築改修が実施されました。
 - その他にも、市民の皆さまから、お預かりいたしましたご意見についても、ひとつひとつ取り組み、実現しています。
- 前号既述の大江庄山線の歩道未整備区間の整備についての経過ではありますが、大津市と地権者との間に一定の目処がつきつつあり、測量も実施されております。今後も早期整備の実現に向けて、取り組んでいきます。

平成24年9月に大津市消防団「瀬田分団」に25年ぶりに車両更新が行われました

導入された最新鋭車両



瀬田分団車の新旧比較表	旧 車 両		新 車 両	
	種 別	BD-1型(ボンネット)	種 別	CD-1型(キャブオーバー)
	級 別	A-2級高压ポンプ	級 別	A-2級高压ポンプ
	年 式	昭和63年9月式	年 式	平成24年8月式
	車 名	トヨタ ランドクルーザー4WD	車 名	日野 デュトロ2WD
	寸 法	長544cm×幅183cm×高238cm	寸 法	長528cm×幅189cm×高233cm
	定 員	6人	定 員	8人
	機 関	3950ccガソリンエンジン	機 関	4000ccディーゼルトーボエンジン(平成22年排出ガス規制適合)
	機 装	小川ポンプ工業株式会社	機 装	株式会社モリタ
	車両特徴	・最小回転半径が、6.0mから5.2mとなり、狭隘な路地の通行が容易になった。 ・乗車人員を増加し、より多くの人員が災害現場で活動できるようにした。 ・キャブオーバー型の採用により、車内空間・積載空間が広がり、快適性と資機材等の積載能力が増加した。 ・環境にやさしいエンジンを採用した。 ・エアコンの搭載により、梅雨時期のガラスの曇りと夏の熱中症が防止される。		
	機装特徴	・消防車のトップメーカーである株式会社モリタ製品の最新技術により、災害現場の信頼度が向上した。 ・コンピューター式多目的液晶ディスプレイ(e=モニタ)を採用し、ポンプの作動状況・操作状況が一目瞭然となり、またポンプ圧力の自動制御や誤操作防止機能・チェック機能があるので、放水隊員の安全・機器の保護が図れる。 ・真空ポンプは、新型のピストン式ポンプとなり、真空給水能力が向上している。 ・後部にホースカー(ホース8~10本用)を積載し、遠距離送水が可能となった。		

議員 桐田まことの一日
《定例会のある一日》

子ども達から「議員さんは、一日何をしているのですか？」
とお声をいただきましたので、私の一日スケジュールを記載いたします。



朝				昼		夕		夜			
5:30	6:45	8:30	9:15	10:00	12:00	13:00	17:30	19:00	20:00	22:00	23:30
起床	駅頭 あいさつ運動	幼稚園(保育園)での あいさつ運動	休憩	市役所にて 公務	昼食及び 来客対応	公務	残務整理	帰宅	夕食及び 団らん	事務作業 (ブログ等の作成)	就寝

桐田まこと

検索

桐田まこと活動記

ブログ更新中

(毎週土曜日、市政相談を開催しています)

一般質問の様子

平成24年9月

定例議会の一般質問（抜粋・要約）

問1 大津市いじめ相談室の新設に向けた取り組みについて

①いじめ相談事業に関する問題点および評価について

Q 大津市におけるいじめ相談体制は、現在、各課に分かれており、相談時間も限られているなど、相談者である子ども達にとり、解りにくく不安を感じるものであり、相談しやすい体制が整っているとは言えないものである。現時点における、いじめに関する相談窓口における体制や取り組みおよび各課や市機関以外との連絡連携体制における問題点および評価について執行部の認識をお伺いする。

A 答弁：市長

いじめ相談事業に関する問題点および評価についてであるが、現在、相談窓口の開設時間は24時間対応できておらず、学校に通う子ども達が相談できる時間が放課後の数時間程度に制限されていることから、相談できる時間帯を広げた窓口の設置についての検討が必要と考えている。

②大津市いじめ相談室の新設に向けた取り組みについて

Q 大津市において、いじめに関する報告・連絡・相談を速やかに行うことのできる相談機能の強化と連携体制の拡充は、いじめを早期発見・解決・未然防止につなげる上で重要であり、子ども達の視点に立ち、子ども達が信頼して相談できる体制の確立が急務であると考える。

現状の課題を踏まえた上で、いじめ問題に関して総括指揮する権限を持ち、専門的に一元的に取り組むことのできる「いじめ相談室」を新たに設置することが必要と考える。

その上で、365日24時間体制での相談窓口の開設を行い、大津の子ども達は、大津市全体で守り育むという明確な姿勢を示すべきと考えるが執行部の見解をお伺いする。

A 答弁：市長

ご提案いただいたいじめに対する総括的な対応の窓口となる組織について、その趣旨は十分に理解いたしている。今後の議会におけるいじめ防止条例制定に向けた議論や第三者調査委員会の報告内容とも関連付けながら本市として、どのような体制、方策をとれるかなど調査研究を行い、いじめ防止条例が施行された後、その趣旨に沿い、すぐに設置できるように十分な準備を行っていく。

また、ご指摘の夜間の相談窓口の課題についても早急に対応していきたいと考えている。

問2 皇子山球場における施設改修整備について

①現行B S O方式ボールカウントボード改修整備に向けた、今までの取り組みと今後の方針について

Q 皇子山球場は、高校野球や小中学生の大会、大学野球などに利用され、多くの皆さんから親しまれている。また、プロ野球が開催されるなど球場に対する評価も高く、湖国球児にとって、あこがれの球場でもある。

また、大津市におけるスポーツを活かした地域教育や地域振興においても大きく寄与しており、大津市にとり、全国に誇れる貴重な財産である。しかし、現在もボールカウントボードが旧式のB S O方式のままであることから、球場利用者や球界関係者から現行のB S O方式への早期改修が求められている。ルールに関わるボールカウントボード改修に向けた今までの取り組みと今後の計画について執行部の見解をお伺いする。

A 答弁：都市計画部長

近隣府県の夏の高校野球選手権地方大会の主会場において、その多くが改修整備を完了または計画が行われている状況である。皇子山球場は、大津のみならず滋賀県を代表する球場でもあることから、今後、多くの利用者や関係者から幅広くご意見を伺いながら、現行のB S O方式ボールカウントボードへの早期の改修整備に向けて検討を進めていく。

問3 エアコン整備を活用した授業時間数安定確保に向けた取り組みについて

①授業時間数確保に向けた、エアコン整備に伴う成果の活用方策について

Q 大津市内の学校現場は、過去の傾向と統計から例年一月中旬から二月中旬にかけて、インフルエンザや感染性胃腸炎が大流行し、毎年のように学級閉鎖や学年閉鎖の措置が執られ、通常の学校活動においても授業時間数の安定確保に苦慮している中であって、国が定める標準授業時間数の安定確保に影響を及ぼし、特に受験をひかえる中学三年生にとっては、受験環境に与える影響はさらに深刻なものであると考える。

このように例年繰り返される冬期のインフルエンザや感染性胃腸炎を授業時間数の安定確保における冬季のリスクと認識し、予め授業時間数の安定確保に向けた対策を講じ生徒や現場教員に身体的精神的な影響が及ぶことのないように配慮に努める必要を強く感じるものである。

平成25年度から順次開始されるエアコン整備により、夏季における授業環境は、現状に比べ格段に改善されることが期待でき、最大の成果であると考ええる。

この成果を活かし、夏季休暇を7日間程度繰上げ、始業を早め、冬季を迎えるまでに予め授業時間数の確保を行い、時間的な余裕を持ち、冬季リスクに対して万全に備えるべきと考える。安定した授業時間数確保に向けた、エアコン整備に伴う成果の活用について、教育委員会の見解をお伺いする。

A 答弁：教育部長

現在の猛暑の中での授業を考えると、エアコンの整備が進むことにより、児童生徒にとり、健康管理などにおいて、かなりの負担軽減につながり、集中して学習に取り組みるとともに、学力の向上にもつながるものと期待している。

さらに夏季休業日の授業日設定や1学期末や2学期当初の授業時間設定にゆとりができ、標準授業時間数の安定確保はもとより、学校の独自性を活かした教育の実施が可能になるものと考えている。

教育委員会として、エアコンの整備が予定されている各校に対して、創意ある年間指導計画の作成準備を指導していく。



平成24年12月

定例議会の一般質問（抜粋・要約）

問1 J R 西日本瀬田駅と石山駅間における新駅構想について

①6月定例会一般質問以後の大津市とJ R 西日本における協議開催経過と協議内容および、現時点における大津市の認識について

Q 今年度6月定例会において、J R 西日本瀬田駅と石山駅間における新駅構想について一般質問を行い、執行部から構想の段階であるとの答弁を受けたものである。その後も当該地域は、さらに宅地開発が進み、商業施設も相次ぎ開設されるなど人口の集積と商業の集積が進んでおり、近隣地域住民の皆様の間で、この新駅構想に対する関心が以前にも増して、広がりを見せている。

新駅の構想いかににより、最も影響を受けることが予想される近隣地域住民の皆様に対して、正しい情報を定期的に提供する必要があり、とても大切であると認識する。

その上で、6月定例会一般質問以後の大津市とJ R 西日本における協議開催経過と協議内容および、現時点における大津市の認識についてお伺いする。

A 答弁：政策調整部長

6月定例会以後、大津市とJ R 西日本の間で勉強会を2回開催したところである。1回目においては、新駅設置による自動車交通量について議論を行ったものである。

これを受けて現在、J R 西日本が瀬田駅や石山駅への現状のアクセスルートの把握を行い、それを基に新駅へのアクセスルートの分析が進められているとともに今後の周辺道路への影響についても予測されているところである。

2回目では、本市の道路整備計画について協議を行ったものである。

これまでのJ R 西日本との協議の中で新駅設置についての最も大きな課題は、周辺の交通渋滞が問題であると双方理解をしており、今後も、双方の調査研究を突合しながら、意見交換をより深める段階であると認識している。

地元住民の皆様のご心配も確かにあると思いますが、一定の方向性を出すまでには至っておらず、まだ研究の段階であり、現在も構想の段階であると考えている。

問2 スクールランチ事業の検証方法と検証結果の反映について

①一次実施校における検証作業の手法および行程、二次実施校における結果の反映方法と行程について

Q スクールランチ事業は、平成25年6月より、一次実施校において開始され、その後、一次実施校における状況を調査分析、検証を行った上で、その結果を反映し、二学期以降、二次実施校において順次開始される予定であると認識している。

現在示されている形式で調査・分析・検証を行うには、期間が短く、一次実施校で得られた結果が二次実施校において、適切に反映されていくのか疑問を感じるものである。

一次実施校における検証作業の手法および行程、二次実施校における結果の反映方法と行程について具体的かつ詳細な内容について教育委員会の見解をお伺いする。

A 答弁：教育部長

検証の方法については、1次実施校8校における利用状況や課題を把握するために平成25年7月中旬にアンケート調査を行う。アンケートは、全生徒、保護者、教職員を対象に実施し、夏休み期間中に、集計および分析を行い、検証の基礎データとして活用していく。

その上で内容面や運用面などで学校や事業者と協議を行い、生徒や保護者の意向を十分に反映させるように努めていく。また課題があった場合、ひとつひとつ解決するために十分時間をかけて検討し、拙速に2学期から開始していくというようなことはない。

平成25年2月

定例議会の一般質問（抜粋・要約）

問1 効果的、効率的かつ計画的な市道維持管理と安定かつ確実な財源の確保について

①「ガス管にかかる市道占用料」の財源性質を鑑み、今後増え続ける市道の維持管理業務を可能にさせる安定確実な財源として積極的に活用することについて

Q 市民生活において通学や通院通所、買い物などに利用され、欠かす事のできない最も基礎的な社会資本である「市道」の維持管理業務に必要な道路関係予算が十分に確保されず、安全安心を求める市民の願いに対して、きめ細かく対応する事が叶わない状況が常態化していることに対して強い懸念を示すものである。

平成23年度地方交付税額算定に基づく基準財政需要額総額に対する道路橋りょう費に占める目安比率および金額は、ともに一般財源基準において大きく下回り、きめ細かく対応することができない予算環境にあるものと認識する。

その上で、平成25年度から徴収が開始される「ガス管にかかる市道占用料」を、効果的、効率的かつ計画的な市道の維持管理業務を可能にさせる安定確実な財源として積極的に活用し、今後も増え続ける市道に対する社会的要請に適切に対応するべきと考えるが執行部の見解をお伺いする。

A 答弁：総務部長

道路維持費に対する認識については、厳しい財政状況を踏まえて、市道の延長の増加に対応できてきたものではないと認識している。市道の維持管理業務は、道路行政における最も基礎的な業務であり、道路を健全な状態で維持するための適切な維持管理予算の確保が重要であると考えている。

今後は、段差の解消や通学路の安全性向上など地域からの強い要望を踏まえ、安全で安心してご利用いただける道路の維持管理水準の確保に努める。この観点から、平成25年度当初予算において、新たに「ガス管にかかる市道占用料」から得られる一般財源の内、4500万円を充て増額措置したところである。

今後も必要性を勘案した上で、関係する部課と議論を重ね、柔軟に予算を措置すべきものとする。

後援会支部だより

庄山東支部は瀬田学区庄山東自治会に属する地域から成っています。庄山東自治会は、当時は450世帯を越えていた旧庄山自治会から平成2年に分かれて誕生しました。203世帯が新しく庄山東自治会として独立し、残り250世帯はそのまま庄山自治会として継続することになりました。

わたし自身は知る由もありませんが、「庄山」という名前のとおり、昔は木々に覆われた山だったそうです。とても現在の様子からは想像もつきません。今では西から東へ幹線道路が貫き、所属する世帯も490余りと瀬田学区では2番目の大所帯となっています。2008年末には、隣接する東海道新幹線を隔てて大型商業施設フォレオー里山がオープンして、街はさらに活性化しました。しかし一方で、幹線道路を中心に通行量が増加し、交通事故や騒音の増加などの問題が増えてきています。今後、わたしたちの庄山東地域がどのように推移していくのか、見守り続けていきます。

庄山東支部

佐々木喜久治

昭和36年当時の大江庄山線



活動の様子

瀬田夕照の道付近の湖岸清掃活動の様子



地域児童公園の清掃活動の様子



■市政に関するお問い合わせは、
お気軽に桐田まことまで



きりた
大津市議会
議員

桐田まこと事務所

TEL/FAX 077-547-4800

〒520-2141 大津市大江五丁目35番8の103号
〈開所時間 9：00～17：00〉